

オクチョウジザクラ (学名: *Cerasus apetala var. pilosa*)

[バラ科 サクラ属]



▲ 要害山南尾根登山道入り口近くのオクチョウジザクラ

▲ 萼筒が丁子の形に似るオクチョウジザクラ

只見町内では、雪解けが終るとそれを待っていたかのように沢山の草木の花が咲き、殺風景だった野山を飾ります。オクチョウジザクラもその中の一つです。本州の太平洋側に分布するチョウジザクラの変種にあたり、只見町のような日本海側の多雪環境に生育しています。チョウジザクラの名前は花のつけ根の部分（萼筒）が長く、花弁が小さい様子が香辛料の丁子（クローブ）に、そして漢字の「丁」の字に似ていることが名前の由来になっています。樹高が3~6mと小振りで幹の下部から枝分かかれし傘を広げたような樹形をしています。只見では雪解け後の4月~5月頃から白みの強いピンク色の花を咲かせます。葉よりも先か、同時に花を咲かせます。花の形も特徴的ですが、葉もまるみをおびた重鋸歯を持つので他のサクラ類とは簡単に見分けることができます。

企画展

「只見の自然を食べる」

期 間：4月22日(月)まで

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

「植物学者河野昭一の世界~その生涯と只見」

期 間：4月27日(土)~9月2日(月)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

自然観察会

「春の花観察会」

日 時：4月28日(日)12:30~15:00

観察地：蒲生カタクリ公園周辺

「新緑のブナ林観察会」

日 時：4月29日(月・祝)9:30~14:00

観察地：癒しの森

※詳しくはブナセンター HPをご覧ください。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています